女のからだは女のもの
ウィメンズセンター大阪

第4回
GirlsFestival
ガールズ フェスティバル

たのしく性を語れるわたしになろう！

2020年10月11日(日)

13：00 ~ 16：30（12：30 受付開始）
ドーンセンター 1階　パフォーマンススペース
（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

Part I
~ドキュメント映画
「おしえて！ドクター・ルース」から学ぶ~

ドイツ生まれ、ニューヨーク在住90歳。自分らしく生きるために学び、恋し、戦い、働く。
彼女の言葉には、生きるヒントが溢れてる。

Part II
たのしく
性のこと

映画を観て、話そう！
and
セクシュアル・リプロダクティブ・
ライツ＆ヘルスを考えよう！

休憩中には、ウィメンズセンター大阪の企画・編集による
書籍等の販売もいたします！　ぜひ、ご覧下さい。

対象：女性限定
参加費無料

新型コロナウィルス感染防止対策のため、
必ず事前のお申し込みが必要です。
ご協力よろしくお願い申し上げます。
ただし、お申し込み受け付けは、22歳
以下の方を優先とさせていただきます。

お申し込み方法と、プログラムの内容は、裏面をご覧下さい。

■プログラム

Part I ~ドキュメント映画「おしえて！ドクター・ルース」から学ぶ~（約100分）

90歳で現役のセックス・セラピストとして活躍するドクター・ルースことルース・ウェストハイマーを追ったドキュメンタリー。1981年、ニューヨークのラジオ局で放送開始されたトーク番組で誰にも相談できない性の悩みを明快に解決するドクター・ルースのチャーミングなキャラクターはたちまち評判を呼び、84年にスタートした全国ネットのテレビ番組は一大ブームを巻き起こした。性の話題はまだタブーだった時代に、彼女は人びとのエイズへの偏見をなくすために立ち上がり、中絶問題では女性の権利向上をバックアップし、LGBTQの人びとに寄り添いつづけてきた。

ドイツで生まれ、幼い頃に家族をホロコーストで失い、終戦後はパレスチナでスナイパーとして活動したドラマチックな経歴を持ちながら、いつの時代も自分らしく生き、常に笑顔で前を向いて生きてきた彼女のドラマチックな人生に迫っていく。

監督は「ジェンダー・マリアージュ　全米を揺るがした同性婚裁判」などのドキュメンタリーを手がけたライアン・ホワイト。

たのしく性のこと

Part II 映画を観て、話そう！ and セクシュアル・リプロダクティブ・ライツ＆ヘルスを考えよう！

■ 新型コロナウィルス感染防止対策のため、必ず事前のお申し込みが必要です。ご協力よろしくお願い申し上げます。ただし、お申し込み受け付けは、22歳以下の方を優先とさせていただきます。

お申し込みは、①お名前、②ご住所、③電話番号、④年齢をメールまたはFAXにてウィメンズセンター大阪までご連絡下さい。

E-mail

FAX 06-6632-7012
E-mail wco@wco-net.jp

■ウィメンズセンター大阪とは

1984年「女のためのクリニック準備会」として設立。セクシュアル・リプロダクティブ・ライツの保障と女性のエンパワメントを目的に、2004年からは大阪・天王寺で『はるウィメンズクリニック』を併設した「女のための健康支援センター」に。「女（わたし）のからだは女（わたし）のもの」をモットーに、相談事業（電話相談・カウンセリング等）、ボディ ケア＆リラクゼーション事業（鍼灸・整体他）、啓発研修事業（講師派遣・研修企画運営・各種講座開催等）などを展開しながら、「からだと性」に特化して相談しやすい体制づくり、及び、女性や子どもに対する暴力の未然防止・発生防止・悪化防止・再発防止のためのセイフティネットの拡充＆コミュニティの強化を目指し活動している。

■お問合せ・お申し込み

ウィメンズセンター大阪
（月曜日～土曜日　10：00～17：00）

TEL 06-6632-7011
FAX 06-6632-7012

Homepage　Facebook